

# プラント配管/パイプラインの耐震設計技術と対策法

日時

2018年 11月5日 (月)  
10:30 ~ 16:30

会場

産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講師

JFEエンジニアリング株式会社 パイプライン事業部  
ガス導管技術部 副部長 田中俊哉氏  
千代田化工建設株式会社 ChAS・デジタルテクノロジー  
事業本部プラント診断部 耐震・防災セクション 林 豊氏  
アジア航測株式会社 社会インフラマネジメント事業部  
DS技術部 情報解析課 国田大策氏

受講料

1名 45,000円+税  
2名以上1名 42,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
JR中央線 (緩行線)  
地下鉄東西線 (A5出口)  
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)  
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

内容

- ・パイプライン (埋設管および地上配管) の耐震設計 (10:30~14:30) (JFEエンジニアリング株式会社 田中俊哉氏)
  1. パイプラインの概要
    - 1.1 設備概要 1.2 法規・技術基準概要 1.3 設計概要 1.4 建設概要
  2. パイプライン埋設部の耐震設計
    - 2.1 地震被害例 2.2 技術基準 2.3 レベル1地震動に対する設計
    - 2.4 レベル2地震動に対する設計 2.5 液状化に対する設計
    - 2.6 耐震対策等
  3. パイプライン地上配管部の耐震設計
    - 3.1 地震被害例 3.2 技術基準 3.3 レベル1地震動に対する設計
    - 3.4 レベル2地震動に対する設計 3.5 液状化に対する設計
    - 3.6 津波に対する設計 3.7 耐震対策等
  4. その他
    - 4.1 最近の技術動向 4.2 海外パイプラインについて
- ・配管系耐震性能評価プログラムFLAP- (14:30~15:30) (千代田化工建設株式会社 林 豊氏)
  1. 配管系に関わる高圧ガス設備等耐震設計の概要説明
  2. 配管系耐震性能評価プログラム (FLAP-) の紹介
- ・各種レーザ計測システムと3D地図統合ソフトウェアを用いた3D工場管理 (15:30~16:30) (アジア航測株式会社 国田大策氏)
  1. 多様な3D計測システムと3Dハイブリッド地図
    - 1.1 車載型レーザ計測システム (MMS) 1.2 地上設置型レーザ
    - 1.3 手持ち型レーザ 1.4 UAVによる計測 1.5 3Dハイブリッド地図
  2. 施設管理用データ作成
    - 2.1 施設の形状把握 2.2 点検等維持管理 2.3 断面図作成
  3. 3D地図統合ソフトウェアによる3D工場管理
    - 3.1 浸水対策・土工作业支援 3.2 恒久整備計画
  4. 地震発生前後の施設計測による影響評価と対策
    - 4.1 平時における準備 4.2 地震発生後の対応

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 プラント配管/パイプラインの耐震設計技術と対策法

セミナーコード

1101-181105

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/11/5 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				( )
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				